

障害者思い あしなが靴屋さん

福井県内で唯一、障害者向けの革靴を専門に製造販売している長尾製靴所（福井市）は、障害者が持ち込んだ既製品の長靴を履きやすく加工するサービスを手掛けている。障害者向けの靴店は珍しく、全国から注文が相次いでいる。（福井報道部・小川祥）

店主の長尾浩和さん（四七）は、義肢製作所での勤務を経て、二〇〇〇年に創業。ポリオ（小児まひ）の後遺症やリウマチなどの疾患で足が曲がってしまったったり、関節が固まってしまったたりした人たちから注文を受け、靴を手作りしている。顧客から「雪や雨でぬれない、私たちでも履ける長靴はありませんか」と相談されたのがきっかけ。十年ほど前から長靴の加工も始めた。障害者向けの靴を扱うのは義肢メーカーが中心。長尾さんによると、足に障害がある人向けの長靴は市販されていないという。「自分の好きな靴を履きたいのは誰もが同じ」と、店で用意した長靴だけでなく、顧客が選んだ既製

福井 既製品 履きやすく加工

品の加工も受け付けている。長靴のすねの部分に切れ込みを入れて入り口を広く加工。上下二カ所に面ファスナーを付け、着脱がしやすいような工夫を施す。義肢などの



足に障害がある人でも簡単に履けるように長靴の加工を手掛ける長尾浩和さん＝福井市の長尾製靴所で

装具の有無、足の症状などをメールでやりとりして確認しながら、二週間ほどで仕上げ

る。愛知県社会福祉協議会の担当者も「愛知県や近隣の県で長靴を加工するのは聞いたことがない」。全国社福協の担当者も「障害者向けに専門で作っている靴屋は聞いたことがない」と話す。雪の多い北海道や岐阜県などからもホームページでサービスを知った障害者から注文が入り、一五年は四十一件、一六年は四十九件の依頼が舞い込んだ。

好きなアニメキャラクターの長靴を履くことができて喜ぶ女兒など、お礼のメールや画像を送ってくれる顧客も。「そのたびに、この仕事をやっていて良かったと感じる」と長尾さん。「お客さんに合った靴を一つ一つ作り続けた」と話す。

長靴の加工は、片足四千五百円、両足六千五百円から。問い合わせは長尾製靴所＝0776（52）6880へ。